

生産性を高め、自信を育む

ロジクールのパersonalワークスペースが
平凡な従業員体験を特別なものに





平凡から特別へ

正直なところ、周辺機器はIT 部門の最優先事項にはなりません。こういったツールは戦略的な選択肢ではなく、補助的なアクセサリーと見なされがちです。さらに悪いことには、これらは後回しにされ、ノート PC とのバンドルアイテムとして扱われたり、単に低コストという理由だけで選定されたりします。

しかし実際には、こうした「平凡」なツールこそが、従業員の日常業務の中核を担っているのです。これらのツールは朝一番に触れるものであり、勤務時間中はずっと手元にあるものです。そして、従業員がオフィス、自宅、空港、共有スペースを行き来する現代の分散型業務の環境では、こうした毎日使うツールこそが、仕事でフラストレーションを抱えるか、仕事に集中できるかを左右します。

だから今こそ、パーソナルワークスペースに注目すべきときなのです。適切に設計されたツールは、「機能する」と「効果的にその役割を果たすこと」との間にあるギャップを埋めることができます。そのようなツールは、ストレスを取り除き、ウェルビーイングを支援し、より高い生産性を引き出す信頼のパートナーとなります。

言い換えれば、そのようなツールは従業員の日々の体験を平凡なものから特別なものへと変えることができるのです。

本電子書籍では、パーソナルワークスペースが今注目される理由、統一性のないアプローチがもたらす目に見えないコスト、そしてロジクールのパーソナルワークスペースソリューションのポートフォリオが、拡張可能な統合されたエコシステムを提供し、日々の体験をどのように向上させるかをご紹介します。独立したアナリストとして、私の目標は製品を誇大宣伝することではなく、現実的な視点を提供することです。つまり、問題がどこにあり、このポートフォリオがどうそれに対応できるか、なぜそれがIT部門の責任者や企業経営者にとって重要なのかを明確に示すことにあります。

パーソナルワークスペース： 今、注目すべき理由

パーソナルワークスペースは、従来の仕切られたデスクから、ホームオフィス、企業キャンパス、コワーキングスペース、トラベルハブまでを含めたダイナミックなエコシステムへと進化してきました。IT部門と施設管理部門の責任者は、これまでにない今日の状況を受け、複数の連携されたすべての環境で一貫して機能するツールを提供するための計画立案に迫られています。

パーソナルワークスペースはもはやデスク環境ではなく、生産性、ウェルビーイング、IT部門の効率を高めるための戦略的手段となっています。

しかし多くの場合、パーソナルワークスペースへの取り組みは後回しにされ、すべての従業員が全く同じ基本セットを受け取る「一律対応」となりがちです。こういったデバイスは安価で、ノートPCやデスクトップPCの購入時にバンドルされることが多く、従業員の日常業務や職種に合わせて設計されたものはほとんどありません。多くの場合、表面上は効率的に見えるものが、実際には目に見えない大

きなコストとなっています。質の低い周辺機器は従業員を苛立たせ、IT部門によるサポートの負担を増やし、知らず知らずのうちに生産性を低下させてしまいます。

「ワークスペースは、生産性を高め、毎日使うツールを信頼のパートナーのように感じさせる環境であるべきです。」

従業員が望むこと：

生産性を妨げない

頻繁なトラブルシューティングなしで「問題なく機能する」デバイス。

快適さとウェルビーイング

快適さを追及し、疲労を防止するよう設計されたツール。

一貫性

働く場所を問わず、一貫した体験を提供するツール。

IT部門の責任者が求めること：

管理の容易さ

数千のデバイス全体の可視性とコントロール。

セキュリティとコンプライアンス

すべてのエンドポイントが保護される安心感。

拡張性

追加の負担なしで、ソリューションをグローバルに展開できること。

シームレスな互換性

Microsoft Teams、Zoom、Google Meet、Voice、Windows、またはChromeなど好みのエコシステム内で「問題なく機能する」デバイス。これはサポートの問題を最小限に抑えられます。

統一性のない体験がもたらす目に見えないコスト

統一性のなさは、警告通知やエラーメッセージの形で現れるものではありません。それは静かに忍び寄り、ちょっとした非効率性、従業員の苛立ち、そしてIT部門の負担の増加として現れます。確実に言えることは、そのコストは現実存在し、放置はできないということです。

周辺機器の問題点

- || 反応の悪いマウスや反応に遅れがあるキーボードは些細なことに思えるかもしれませんが、あらゆる中断と同様に、集中力を途切れさせ、再び集中状態に戻るまでに時間を要することがあります。
- || Slack の調査によると、小規模企業の 経営者は、テクノロジー機器の非効率性により**1日あたり96分**¹もの時間を失っています。これは年間400時間以上、ほぼ10週間分の労働に相当します。

リモートワークとハイブリッドワークの常態化

- || 2025年4月現在、**民間企業の労働者の20.8%**²が少なくとも一部の業務をリモートワークで行っています。
- || つまり、IT 部門は一貫性を維持しつつ、自宅オフィス、フリーアドレス、カフェ、空港など、あらゆる場所で働く従業員のサポートを行う必要があります。

生産性向上効果

- || 調査では、柔軟な働き方は**生産性を35%～40%向上**³し、従業員のメンタルヘルスも改善されることが示されています。ただし、効果的な分散型業務を実現するには、従業員に対して、どの場所でもシームレスな体験を提供する必要があります。
- || 信頼できるツールがなければ、柔軟性がフラストレーションへと転じてしまうおそれがあります。従業員は、仕事に集中する代わりにトラブルへの対応に振り回されてしまいます。

IT 部門による管理の負担

- || 2025年の調査によると、**67%のIT 部門の責任者が組織内のすべてのデバイスを把握できていない**⁴ことが判明しています。
- || また、**58%が、統一性のないツール管理**にかなりの手間がかかっていると回答しています。

統一性のなさに起因する目に見えないコスト



目に見えないコスト

従業員への影響

IT 部門への影響

周辺機器による問題

集中力の低下、デジタル疲労

サポートチケットの増加

リモート/ハイブリッドワーク常態化

一貫性のない体験

セキュリティ確保/管理がより困難

生産性の低下

エンゲージメントとウェルビーイングの低下

柔軟性追求の結果として ROI の低下

IT 部門の負担

サポートと対応の遅延

コストの増加、拡張性の低下

アナリストの視点： 一貫性と管理のしやすさが譲れない理由

従業員はもう使いにくいツールを我慢したりしません。彼らは、個人のデバイスで享受しているものと同じ、直感的に使える「一般ユーザー向けの使いやすい」体験を職場でも求めています。多くの従業員の基本的な要望はシンプルで「問題なく機能する」というものです。

そして、Z世代が職場に入ること、こうした期待は高まるばかりです。デジタルネイティブのこの世代は、生活のあらゆる局面でシームレスなテクノロジーに囲まれて成長してきました。そしてその同じ水準を職業環境にも求めています。⁵ IT部門の責任者たちとの体系的な対話により、トレンドを分析する中で、一貫したテーマが浮かび上がりました。それはデジタルネイティブが個人的に使用するツールと同水準のシームレスさを、職場のテクノロジーに求めているということです。

しかし、IT部門の責任者たちは難題（予算は圧迫され、スキルは不足し、チームは複数の環境に分散）に直面しています。そして複雑さが最大の敵になっています。

目指す方向は明らかです。

- **一貫性が確保**されると、従業員は生産性を損なうことなく環境間を移動できます。
- **管理のしやすさ**が実現すると、IT部門は管理負担に悩まされることなく大規模にサポートできます。

こうした取り組みを実現できなければ、生産性が低下するだけでなく、従業員の不満が高まるリスクもあります。現代の競争の激しい雇用市場では、職場ツールの質が人材定着率に影響を与える可能性があります。ある調査によると、従業員のほぼ半数が仕事に関連するストレス、抑うつ感、または不安を報告しています。⁶ これには多くの要因が絡んでいるものの、反応の遅いキーボードやマウスの不具合など、一見小さなフラストレーションでもストレスを増加させている可能性があります。従業員に質の低いツールを支給することは、彼らを大切にしていないというメッセージを伝えることになり、エンゲージメントの低下を加速させることになります。

「一貫性と管理のしやすさは選択肢ではなく必須のものです。これらは生産性、ウェルビーイング、IT部門の効率向上の基盤です。」

製品紹介



Zone Wireless 2 ES for Business

主な機能は次のとおりです。

アダプティブハイブリッドアクティブノイズキャンセリング（ANC）：周囲の騒音を最小限に抑えるために、ノイズキャンセリングをリアルタイムで自動的に調整します。

カスタム設計された40mmドライバー：通話、音楽再生、ANC用に最適化されています。

プレミアムマイク：オープンオフィスでのクリアな通話のための、AI駆動のアルゴリズムを備えた2本のノイズキャンセリングマイク。

快適性：ヘッドセットストラップは重量を均等に分散し、イヤーパッドは回転と角度調節で最適なフィット感を実現します。

[製品を見る](#)

エコシステム思考が場当たりの導入より優れている理由

企業がパーソナルワークスペースに対して場当たりのアプローチを取り、デバイスをカテゴリー単位で購入すると、誰にとっても問題が生じます。

従業員にとって：

- || 場所によって異なるマウスやキーボードにより、感覚の切り替えを強いられます。
- || オーディオとビデオの品質が、手元のデバイスにより異なります。
- || 会議が、コラボレーションより先に常にトラブルシューティングから始まることになります。

IT 部門にとって：

- || 複数のベンダーやダッシュボードの管理が、リソースを圧迫します。
- || 従業員が統一性のない環境に苦労するため、サポートチケットが急増します。
- || グローバルに展開するには非効率でコストがかかり、ミスも起こりがちになります。

これに対して、単一のエコシステムを導入すると、一貫性、IT部門の効率的なワークフロー、長期的な ROI を保証します。パーソナルワークスペースは自然で直感的に使えるものであるべきで、決して負担であってはなりません。エコシステム思考はこの関係性を逆転させます。

統一されたアプローチにより次のことが実現します。

一貫性

働く場所に関係なく信頼できるツール。

効率性

プロビジョニング、更新、トラブルシューティングの一元管理。

ROI

ダウンタイムの削減、サポートチケット数の減少、長期的なコストの削減。



ロジクールのパーソナルワークスペースポートフォリオのご紹介： すべての従業員に向けた段階的アプローチ

私の見解では、ロジクールのアプローチで際立っている点は、**エコシステムファーストの考え方**です。ロジクールは、アクセサリーを単独の追加製品として扱うのではなく、あらゆるデバイスがより大規模な統合されたシステムの一翼を担うポートフォリオを構築しました。その構成は製品バリエーションの豊富さだけを意図したものではありません。それは、従業員の多様なニーズに即したものになるように構成されています。

ポートフォリオは、**バリュー、コア、アドバンスド、エルゴノミック**の4つの階層に分かれ、それぞれが特定の従業員の職種と職場の状況に対応しています。実際のところ、これにより、IT部門の意思決定者は組織全体での統一性を保ちつつ、容易に適切なツールを適切なユーザーに割り当てることができるようになります。

バリュー：標準的なオフィス向けで、信頼性が高く、費用対効果の高いツールであり、ノートPCの大規模な導入に採用されることが多くなっています。

コア：パフォーマンス、価格、IT部門による管理のしやすさをバランスよく兼ね備えた主流となる選択肢。ロジクールは、**ビジネス向けのSignature Slim Solar+ K980キーボード**（光で給電できる自動充電式キーボード 日本未発売）や、**Zone Wired 2/Zone Wireless 2 ES for Business** ヘッドセット（通話やコラボレーションのためのアダプティブハイブリッドANCとノイズキャンセリングマイクを搭載）などの新しいデバイスを追加して、このコアのラインアップを拡充しています。

アドバンスド：パフォーマンス、精度、カスタマイズ性を求める、専門性の高い従業員やパワーユーザー向けのプレミアムツール。新製品 **MX Master 4 for Business** マウス（日本未発売）は、この階層を代表する製品です。ロジクールのこの象徴的とも言えるマウスは精度とパフォーマンスを追求して再設計されており、クリエイティブ、エンジニアリング、テクニカル分野のワークフロー向けに高度なソフトウェア連携を実現しています。

エルゴノミック：快適さと長期的な心身の健康を考慮して設計された専用デバイス（特定のエルゴノミックニーズを持つ従業員の負担を軽減するスプリットキーボードや縦型マウスなど）。

この階層的アプローチにより、IT部門は職種に応じた選択肢を提供しつつ、場当たりのデバイス購入による統一性のなさやサポートにおける負担を回避できます。すべてのデバイスが**統一されたロジクールエコシステム**の一部であるため、シームレスに機能し、SyncやTuneなどのソフトウェアツールとも連携します。また、管理のしやすさとグローバルな展開に関する企業基準に沿っています。

統一性のないソリューションや場当たりの周辺機器であふれる市場の中で、本当に価値のあるものはIT部門の責任者に明かな指針を与える階層型フレームワークです。

階層	対象ユーザー	位置づけ	主な機能
バリュー	運用/管理職	エントリーレベル、予算に優しい	信頼性が高く、ビジネス認定済みの基本セット
コア	幅広い職種向け（財務、営業、人事）	バランスの取れた品質と手頃な価格	有線およびワイヤレスに対応、大規模に展開可能
アドバンスド	パワーユーザー向け（開発者、アナリスト、クリエイター）	プレミアム、ワークフロー最適化	カスタマイズ可能なツール、高度な機能
エルゴノミック	快適さとウェルビーイングを求める従業員向け	エルゴノミクス優先の設計	負担を軽減し、ウェルネスを促進

ロジクールが他社と一線を画す特長

ロジクールを際立たせているのは、個々のデバイスだけでなく、エコシステム全体のメリットです。ロジクールのパーソナルワークスペースポートフォリオを評価する際に、最も注目すべき点として挙げたい機能を以下にご紹介します。



ユーザー中心の設計

ユーザー中心の設計とは、人々の働き方を予測しつつ、テクノロジーが表に出すぎないようにする設計です。ロジクールは、手になじむ形状の Lift マウスから MX Keys、Zone ヘッドセットのシームレスなコントロールまで、自然で直感的に使えるデバイスで高い評価を得ています。

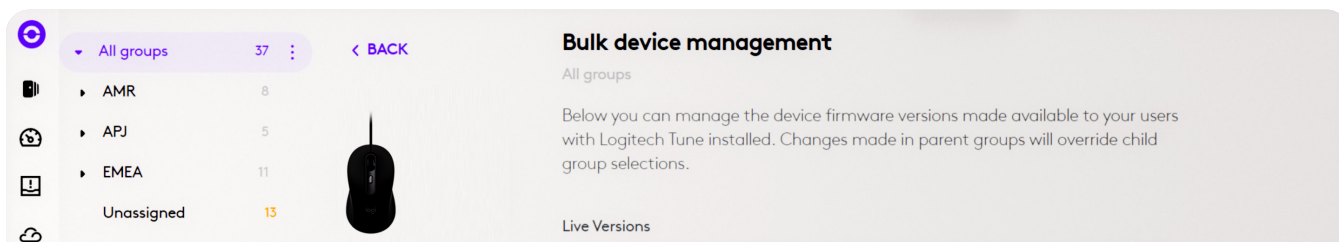
これが重要な理由ロジクールのパーソナルワークスペースソリューション全体において、この設計は導入と生産性を直接促進します。使い勝手の悪いツールはストレスとサポートチケットの原因になります。操作しやすいツールがあれば、従業員は機器ではなく仕事に集中できます。

ユーザー中心の設計は、従来の入力デバイスに限ったものではありません。ロジクールは同じ理念をより広いワークスペースに拡大しています。

|| **Logi Dock Flex（日本未発売）** はデスク予約を簡素化しハイブリッドワークを導入しているオフィスでフリーアドレス化を可能にします。

|| **エルゴノミックの革新的な技術**（スプリットキーボードや縦型マウスなど）は負担を軽減し、長期的な快適性をサポートします。

ロジクールはデバイスを信頼のパートナーのように感じさせることで、サポート負担を削減し、毎日の仕事を快適なものにしています。



デバイスの枠を超えて：Sync と Logi Tune の役割

ロジクール Sync

- 一元的なクラウドベースのダッシュボードで、個人デバイスからデスクや会議室まで、すべてを管理するための幅広いエコシステムを提供します。
- リモート監視、プロアクティブなアラート、シームレスな更新。
- 利用状況とパフォーマンスに関する洞察を提供し、製品ライフサイクル計画立案を補助。例えば、IT 部門はパーソナルデバイスの全体的な導入状況を追跡し、将来に向けて情報に基づいた意思決定を行なうことができます。

Logi Tune

- 従業員向けの音声、ビデオ、ボタン設定のパーソナライズ。
- ミュート、ANC、マイクレベル、ウェブカメラの簡単な設定。
- IT 部門への依存を減らすリアルタイムのトラブルシューティング。

これらのツールを組み合わせることで、IT部門の効率性向上と従業員満足度の向上という2つのメリットが得られます。



AI とインテリジェンス

ロジクールは、単一のデバイス内に限定することなく、エコシステム全体にインテリジェンスを統合しています。

- || **RightSight** と **RightSound** は、AI を活用して話者を自動的にフレームに収め、周囲の騒音を除去し、クリアさを向上させます。
- || 専用ボタンやショートカットなどの **AI 駆動のコントロール** は、日々の作業を効率化します。
- || Zoom、Microsoft Teams、Google Meet との **プラットフォーム連携** により、余計な手順なしで高い生産性を実現できます。

ここでの AI は、単なる目新しい技術ではなく、日常のワークフローに組み込まれるものです。



エコシステムの信頼性と規模の拡大

ロジクールは、他のベンダーを引き離すグローバルな一貫性、サステナビリティ、幅広さを実現しています。

- || **複数拠点のオフィスを対象とする** グローバルな品質とサポート
- || 個人用周辺機器から会議室ソリューションまで網羅する **幅広いポートフォリオ**。
- || ポストコンシューマーリサイクル (PCR) プラスチック、低炭素アルミニウム、そしてバッテリーに含まれるリサイクルコバルトなど、環境負荷の少ない材料を活用した **サステナビリティに関するリーダーシップ**。FSC[®] 認証のパッケージと電力効率。

このグローバルな展開、責任ある姿勢、そして対象範囲の広さの組み合わせが、ロジクールが単なるデバイスメーカーではなく、組織が大規模に導入する際にも頼れるパートナーであり続ける理由を裏付けています。



IT 部門の管理のしやすさ

数千のエンドポイントを管理することは負担の大きな作業です。ロジクールは、IT部門にコントロールと可視性を提供するツールでこれを容易にします。

- || **ロジクール Sync** は複数のデバイス（フリート）管理を一元化します。
- || **クロスプラットフォームサポート** により、Windows、macOS、ChromeOS 全体での一貫性が確保されます。
- || **セキュリティとコンプライアンス機能** より、アップデートを企業基準に合わせて適合させることができます。

IT 部門は、場当たり的な管理ではなく、導入、監視、サポートを一元管理できます。その結果、運用の簡素化、対応時間の短縮が実現し、環境の一貫性と安全性が維持されることでユーザーの安心感につながります。

製品紹介



MX Master 4 for Business

主な機能は次のとおりです。

強化された接続性：高度な無線チップ、最適化されたアンテナ配置、完全に暗号化された FIPS 準拠の接続を実現する Logi Bolt USB-C レシーバーにより、従来と比較して2倍のパワーを誇ります。

センサーテクノロジー：ガラスを含むあらゆる表面で動作する 8K DPI Darkfield レーザーセンサー。

製品を見る

パーソナル/チームワークスペースをつなぐ

ロジクールの最も際立つ強みのひとつは、パーソナルワークスペースとチームワークスペースを単一のエコシステムに統合できることです。ほとんどの組織はこれらを個別の投資として扱っていますが、特に組織の規模が拡大するにつれて、一貫性が損なわれ、複雑さが増してしまいます。



個人用とチーム用のポートフォリオは、単一のエコシステムとして連携するように設計されており、個人とチームの双方に測定可能な成果をもたらします。

ロジクール製品なら、従業員は次のような体験が可能です。

- 個人用デスク、会議室のどちらでも使い慣れたインターフェイス（Tap、Logi Dock Flex、Tap Scheduler、Tune）。
- パーソナル/チームワークスペース間でのシームレスな移行。
- 同じ AI によって強化された、統一された生産性を高める機能。

IT 部門にとってのメリットも同様に強力です。

- ロジクール Sync が個人とチームのデバイス両方を単一のプラットフォームで管理します。
- 一貫性のあるプラットフォーム連携と認定
- 標準化による容易になるトレーニングとサポート。



Zone Wired 2 for Business

主な機能は次のとおりです。

アダプティブハイブリッド ANC：異なるノイズレベルにリアルタイムに対応し、高/低 ANC、アダプティブ、外音取り込みの5つのモードを備えています。

ノイズキャンセリングマイク：周囲の騒音を抑制するための AI 駆動のアルゴリズムを搭載した2本のマイクで、オープンオフィスの Microsoft Teams プレミアムマイク要件を満たします。

カスタム設計の40 mm ドライバー：通話、音楽再生、強化された ANC および低音パフォーマンスに最適化されています。

[製品を見る](#)



競合他社製品に対する位置づけ： ロジクールの差別化ポイント

競争の激しい市場の中で、ロジクールの優位性は明らかです。

競合他社の中には、ニッチな高級製品に特化しているところがあります。ロジクールは、企業向けの高い信頼性とグローバルな大規模展開を両立させています。

- II 他社が提供しているのは、単一カテゴリーのツール（ヘッドセットや会議用サウンドバーなど）です。ロジクールは、あらゆる範囲のオフィスソリューションをカバーしています。
- II 多くの競合他社は、AIを個々のデバイス内に搭載しています。ロジクールは、ユーザーが高価な専用デバイスに費用をかける必要がないよう、AIをエコシステム全体に包括的に搭載し、より広く活用可能なAI搭載のエコシステムを作り出しています。

革新性を使いやすさ、一貫性と組み合わせることで、ロジクールはワークスペース全体で統一された体験を提供します。この一貫性こそが、ロジクールがパーソナルワークスペースや共有ワークスペースのデバイスにおける専門知識を活かし、Microsoft Teams、Google、Zoomなどのプラットフォームパートナーとの連携を可能にしています。

ノートPCメーカーは周辺機器をサブアクセサリーとしてバンドルしているかもしれませんが、ロジクールは、周辺機器を主要なツールとして設計し、それが特別なユーザー体験につながっています。この操作性と使いやすさへのこだわりが、ロジクールをマウス、キーボード、ウェブカメラのグローバルリーダーへと導きました。

製品紹介



Signature Slim Solar+ K980 for Business

主な機能は次のとおりです。

光による電力供給：これは自然光と人工光を利用する自動充電式キーボードで、充電ケーブルやアルカリ乾電池は必要としません。

Logi LightCharge テクノロジー：この効率的な電力管理システムにより、キーボードはほぼあらゆる光条件下で機能します。最大10年間、機能するように最適化された耐久性のあるバッテリーを搭載しています。

サステナビリティのための設計：このキーボードは、最低70%のポストコンシューマリサイクル（PCR）プラスチックを使用して製造されており、FSC™認証のパッケージで出荷されます。

[製品を見る](#)

アナリストの見解：

ロジクールのパーソナルワークスペースが生産性と戦略的価値を向上

パーソナルワークスペースはもはや従業員だけの関心事ではありません。それはIT部門の責任者や企業経営者にとって戦略的な必須事項です。

統一性のないバラバラなシステム環境は、生産性を低下させ、目に見えないITコストを生み、従業員の苛立ちを招きます。統一されたエコシステムは、一貫性、管理のしやすさ、長期的な価値を提供することでこういった問題を解決します。

ロジクールのパーソナルワークスペースポートフォリオは、その幅広さ、個々の機能、シームレスな連携において際立っており、従業員とIT部門の両方をサポートするソリューションを提供します。従業員にとっては、それは信頼できるツール、毎日の業務で信頼のパートナーのように感じられるデバイスです。IT部門にとって、それは導入、管理、拡大が容易なエンタープライズ対応のエコシステムです。

「ワークスペースが効果的に機能すれば、従業員が持つ力を十分に引き出すことができます。」

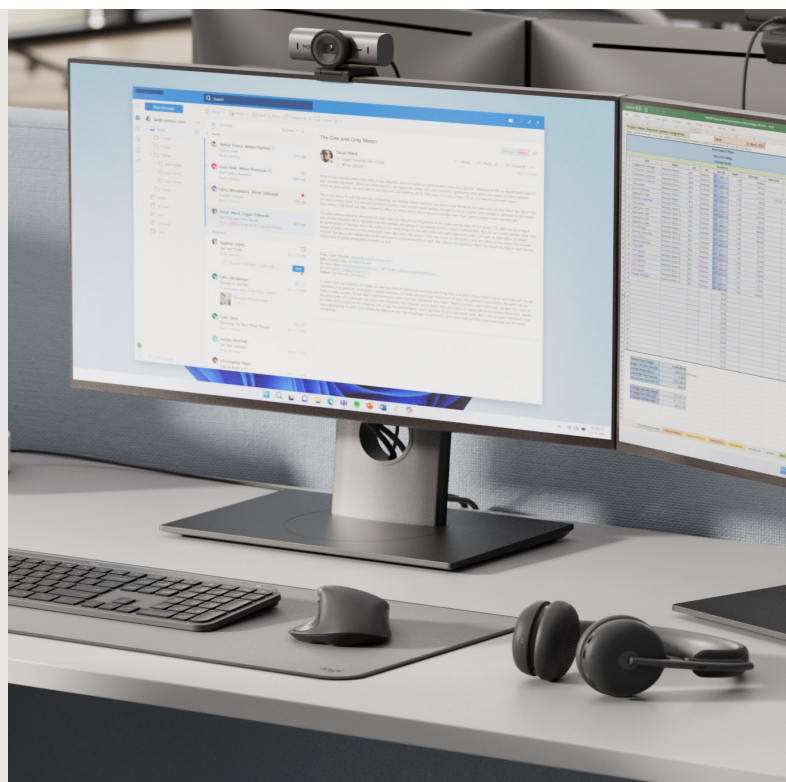
The Collab Collective の主席アナリスト、Craig Durr

最終的なポイント

ロジクールのパーソナルワークスペースポートフォリオが実現すること：

- || バリュー、コア、アドバンスド、エルゴノミックの各ポートフォリオにより実現する職種別の選択肢。
- || 快適性と生産性を高めるユーザー中心の設計。
- || すべての Logicool for Business ソリューションを可視化してIT部門が一元的に容易に管理。
- || エコシステム全体に一貫して適用される将来を見据えた AI。

ロジクールのパーソナルワークスペースソリューションポートフォリオの詳細を見るには、こちらをクリックしてください。





¹ Salesforce 「中小企業の経営者は、毎日平均96分の生産的時間を失う。」 *Salesforce News*、2024年8月14日、
<https://www.salesforce.com/news/stories/small-business-productivity-trends-2024/>

² 米国労働統計局。「2025年4月の民間企業従業員のテレワーク率。」 *Economics Daily*、2025年5月23日、
<https://www.bls.gov/opub/ted/2025/telework-rate-down-for-federal-government-workers-in-april-2025.htm>

³ Bloom, Nicholas, Ruobing Han, および James Liang. 「ハイブリッドワークの在宅勤務は、パフォーマンスを損なうことなく従業員定着率を高める。」 *Nature*、第630巻、
第8018号、2024年、920–925ページ。
<https://doi.org/10.1038/s41586-024-07500-2>

⁴ Scalefusion 「IT リーダーは主要な業務用デバイスの盲点に直面しており、それがセキュリティリスクを引き起こす。」 *ITPro*、2025年7月21日、
<https://www.itpro.com/security/it-leaders-are-facing-major-work-device-blind-spots-and-its-putting-security-at-risk>

⁵ Hackl, Cathy. 「Z世代：仕事と遊びの未来。」 *フォーブス*、2020年9月7日、
<https://www.forbes.com/sites/cathyhackl/2020/09/07/gen-z--the-future-work--play/?sh=597d5358142e>

⁶ YouGov. 「イギリスの労働者の半数が職場でストレスを感じていると回答。」 *YouGov*、2023年4月19日、
<https://yougov.co.uk/society/articles/43172-half-british-workers-say-they-feel-stressed-work>

会社情報



Craig Durr 氏は、職場のコラボレーションとコミュニケーションに重点を置いた業界アナリスト企業、The Collab Collective の主任アナリスト兼創立者です。Craig 氏は、アナリスト、研究者、基調講演者として活動する中で、企業、従業員、顧客の間でシームレスなつながりを可能にするサービス、テクノロジー、およびデバイスに関するインサイトを深めてきました。

テクノロジー以外にも、仕事における複雑な人間的側面についても調査し、得られた知見を、労働力、職場、現代の業務体験のワークフローに分類しています。これらの要素を明らかにすることで、未来の職場に不可欠なテクノロジー、生産性、およびビジネス戦略の間の複雑な相互作用の解明に貢献しています。

 cdurr@collab-collective.com

 [craigdurr](https://www.linkedin.com/in/craigdurr)

 [@craigdurr](https://twitter.com/craigdurr)



職場のコミュニケーションとコラボレーションの進化する環境について、データに基づいた分析と、現在のハイブリッド環境を形作る労働力、職場、ワークフローに関する高度な知識を組み合わせ、深いインサイトを提供します。当社のアナリストは、職場のコラボレーション、顧客体験、従業員体験のテクノロジー、そして創造性とワークフロー管理のための企業アプリケーションの専門家であり、これらのソリューションが実際の業績にどのように貢献するかについて包括的な理解を提供しています。

 www.collab-collective.com



ロジクールは、ビジネスの成功に貢献し、仕事や制作、ゲーミング、ストリーミングにおいて、人と人をつなげるソフトウェア対応のハードウェアソリューションを開発しています。当社の使命は、人々とデジタルの世界を結ぶ接点として、人々と地球に優しい方法で、仕事と遊びにおける人間の可能性を拡大することです。1981年に設立された Logitech International は、スイス連邦の株式公開企業であり、スイス証券取引所（SIX：LOGN）と NASDAQ Global Select Market（LOGI）に上場しています。ロジクールとビジネス製品、エンタープライズソリューションについて詳しくは、www.logicool.co.jp/business、当社の [ブログ](#)、[Logitech Business](#)、または [@LogitechBiz](#) をご覧ください。

 www.logicool.co.jp